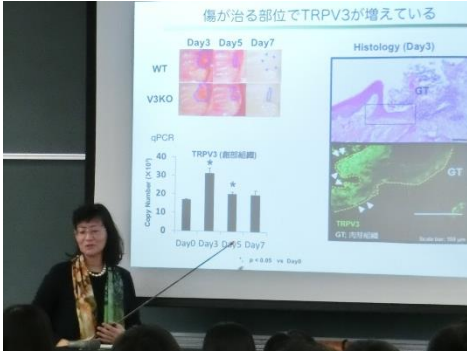




リサーチセミナーを開催しました



11月18日(土)に、理数科1年生を対象に、第5回「リサーチセミナー」を実施しました。佐賀大学医学部 生体構造機能学講座 城戸瑞穂先生に、「お口の不思議」と題して、医学部医学科の概要、解剖学において形を見ることの意味や口腔について研究する意義、細胞膜表面に存在するタンパク質TRPV3が傷の治りにどのように関係しているかを研究した事例等を話していただきました。

生徒の感想

- 「私は医療系の進路を考えており、今日の講義で研究のやりがい等を聞くことができ、医療への興味が深まりました。臨床ではすでにある治療方法でしか患者さんを救えないけど、研究では新しい発見によって多くの人々を救うことができるということを知り、研究に対するイメージが少し変わりました。」
- 「TRPV3があるかないのかで治りが全然違うことが分かって、今の最新の研究について聞くことができとても楽しかったです。今まで分かっていなかったことが分かるときの楽しさを知れる研究の仕事は、とてもやりがいがあって楽しそうだと思います。」
- 「将来は医療分野の仕事につきたいと思っていたので、とても興味深い講義でした。研究職は興味はあっても、ワークライフバランスを考えると前向きに考えられなかったのですが、考え方が変わりました。」
- 「3学期には、自分が本当に社会の役に立つ何かを見つけて、それを追求していくことになると思うので、今回の講演で学んだ専門的な知識とグラフのまとめ方なども参考にして、これからのSSH研究に挑んでいきたい。」

「サイエンスを仕事にしよう ～科学の楽しさ～」に参加しました

11月18日(土)に、本校を会場にして、佐賀大学ダイバーシティ推進室主催による中高生対象の進路選択支援講座「サイエンスを仕事にしよう ～科学の楽しさ～」が開催されました。本校からも、中学2年生5人と保護者2人が参加しました。



講座では、佐賀大学ダイバーシティ推進室 室長 城戸瑞穂先生による「男女共同参画講義」、佐賀大学農学部 龍田典子先生による「DNA抽出実験」、佐賀大学大学院農学研究科と工学系研究科の大学院生の方による大学での研究や大学生活についてのお話がありました。また、講座全体を通して、同室 副室長 荒木薫先生が運営・進行をされました。

キウイフルーツのDNAを抽出する実験では、コーヒーフィルターやジップロック、洗剤、食塩等を用いて、参加した生徒達は熱心に取り組んでいました。また、保護者の方も一緒に講義や実験に参加され、親子で理系進路について考える良い機会となった様子で、皆さん笑顔で教室を後にされていました。